

平成 23 年度 決算 (一般会計)

総質疑数 177 件
(本会議 71 件、委員会 106 件)
△主な質疑△

子宮頸がん予防ワクチン接種費用の補助

該当者数と受診率は。

該当者数 415 人のうち 39 人が受診し、受診率は 81.7% です。残りの 76 人については啓発を行ないましたが、残念ながら未接種に終わりました。

児童虐待対応専用車の購入は

車両の詳細と使用は。

11 月に専用の軽自動車を購入しました。後部座席にチャイルドシート、ジュニアシートをそれぞれ基備えています。平成 23 年度の使用実績はありません。基本的に児童虐待対応の事務を優先に、あいている時間帯は課内での活用を進めていきます。

生活・介護支援センター養成講座事業費は

受講者は何人で、その後の活躍は。

学校給食の放射能対策

学校給食の放射能対策は万全か。

平成 23 年 4 月末から県の測定器を活用し、月 2 回測定を行なっています。また、購入した近隣自治体の測定状況や課題の把握に努めます。当面は現状のとおり行なっていきます。

川の再生プロジェクトを小川町でも

「川のまるごと再生プロジェクト」。当町でも嵐山町と一緒になり、県や有識者からのアドバイスを受けながら、積極的に進められないか。

町が計画提案し、県が実施していくもので、町として現状予算化する段階のものではありません。現在、地域の皆さんのが活動実績や提案と一緒になつて県に働きかけています。3 カ年の計画なので、まずは板本親水

旧上野台中学校の有効活用は

管理事業費が毎年計上され

公園からパトリアおがわまでの計画を提案しています。採用され、計画実施に向けて進められればと考えています。

検討チームで活用方法を検討しています。いくつかの意見はありますが、今年度末までに結論を出したいと考えています。



旧上野台中学校

行政区世帯数 (平成 24 年 10 月 1 日現在)

	少ない行政区	多い行政区
1	21 世帯 (松若町)	410 世帯 (池田)
2	23 世帯 (高谷南)	375 世帯 (腰二)
3	30 世帯 (西古里)	330 世帯 (増尾)
4	39 世帯 (本二)	295 世帯 (下小川二)
5	43 世帯 (仲町)	286 世帯 (ダイアパレス)

東小川・みどりが丘地区を除く

問 行政区の抱える問題はどうか
答 行政区の抱える問題では、例えは世帯数が大幅に減少し、いろいろな活動が成り立たなくなっている。現実的な編成を検討すべきではない。

不納欠損の割合は

問 不納欠損額が多いのは、

答 当町の一般会計町税の不納欠損額は、4596 万円でそのうち固定資産税が 6.9% を占めています。不況や景気後退の影響や失業率も高くなっています。固定資産税は、所得が低くなつても決まつた額を納税いただく仕組みとなつておらず、徴収できなくなつてしまつたことがあります。

問 制度改正で小川町シルバー人材センターが公益社団法人となつた。補助金を出すだけでなく、仕事の依頼を増やすことが必要ではないか。

答 小川町シルバー人材セン

ターから支援要請がありまし

た。シルバー人材センターの

ある他自治体の動向や運営実

態の中で、次年度の予算にどう反映できるのか考えます。

くらなければなりません。

くらなければなりません。